

**令和7年度 秋田県
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者
更新研修**

1日目

秋田県障害者社会参加推進センター

令和6年度よりフルカリキュラム化
された更新研修の全体像

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修の告示別表

基礎研修（うち相談支援従事者初任者研修講義部分） ※本研修時点においては、告示未改正		時間数
講義	1 障害者の地域支援と相談支援従事者（サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者）の役割に関する講義	5h
	2 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の概要並びにサービス提供のプロセスに関する講義	3h
	3 相談支援におけるケアマネジメント手法に関する講義	3h
合計		11h

基礎研修（うち研修講義、演習部分）（改正後）		時間数
講義	1 サービス管理責任者の役割に関する講義	4.5h
	2 アセスメントやモニタリングの手法に関する講義	5.5h
演習	3 サービス提供プロセスの管理に関する演習	7.5h
合計		15h

更新研修		時間数
講義	1 障害福祉の動向に関する講義	1h
講義・演習	2 サービス提供の自己検証に関する演習	5h
	3 サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習	7h
合計		13h

※1 更新研修は、令和元年度から実施

※2 令和5年度までは1及び2のみの実施でも可とする

という扱いでしたが、令和6年度から13時間のフルカリキュラムに移行します。

更新研修 1日目演習の内容

目的

- ①行政の動向や制度改正等の最新の情報(アップデート)を得る
- ②サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としてのこれまでの業務内容を振り返るとともに、知識・技術の更なる向上を図る
- ③サービス提供職員等へのスーパービジョンの方法を学ぶ

	研修項目	獲得目標
①	障害者福祉施策及び児童福祉施策の動向	最新の動向を学習することにより利用者の制度的な環境の変化を理解する
②	サービス提供事業所としての自己検証 【事前課題1】	各自事業所の取組状況や地域との連携の実践状況を出し合うことにより、コンプライアンスを理解し、今後の事業所としての取組を明確して実践に活かす
	サービス管理責任者としての自己検証 【事前課題2】	サービス提供責任者としての自らの業務を振り返り、支援のあり方や地域とのかかわり方、今後自ら取組むべき課題を明確にして実践に活かす
	関係機関との連携 【事前課題3】	地域の相談支援専門員や関係機関、さらに(自立支援)協議会との連携状況を再確認して実践に活かす。 (自立支援)協議会の役割を理解する。
③	事例検討	サービス提供職員へのスーパービジョンの具体的な技術を獲得し、実践に活かす

1日目 3つの演習＋振り返り

演習1 事前課題1

「サービス提供事業所としての自己検証」

演習2 事前課題2

「サービス管理責任者等としての自己検証」

演習3 事前課題3

「関係機関との連携」

演習4 振り返りと実践に向けて

演習Ⅰ

サービス事業所としての自己検証

【演習1】 目的と要点

「サービス提供事業所としての自己検証」

＜目的＞

このセッションは、サビ児管としてのスキルアップに加え、**サビ児管業務を行える環境（風土）を整える**ことも必要なことから、

事前課題1を用いて組織環境の振り返り並びに**グループメンバーの取組みを参考にして自事業所に取り入れられることを明確にする。**

【演習1】 事前課題1を使用した報告と討議

演習1「サービス提供事業所としての自己検証」について

＜事前課題1＞

「組織体制」と「チームワーク」の2つの大項目

- 組織体制の取組の良いところとその理由
- 組織としてサビ児管のフォロー、バックアップ体制
- チームワークの取組の良いところ
- 良いチームを作るためにサビ児管として行っている事

上記4点について、
現時点から直近の事業所での取組を
振り返って記載していただきました。

演習1の手順

事業所としての自己検証

①事前課題1の報告【報告時間1名3分+質問2分×6名=30分】

- ・報告(3分)→質疑(2分)を行う。
- ・「良いと思う取組み」をメモする。

②報告の「良いと思う取組み」を共有する【15分】

- ・メモしたものをKJ法で整理しまとめる。

③全体共有(発表)【3G×3分=9分】

- ◎組織体制の取組の良いところ
- ◎チームワークの取組の良いところ

理由なども参考にして、「良いな」と思ったことは箇条書きでメモをする。

演習1の留意点

1. 事前課題の内容整理をするにあたっては、批判的なことは避け、**良い取り組みと思われた内容について意見交換し、自身の事業所でも参考にして取り組んでみたいことを整理**する。
2. 報告時の「**良い取り組み**」を見る視点として、①情報伝達や共有方法（日常の業務的コミュニケーション、会議等）、②サビ児管のフォローアップ体制（サビ児管が困ったときの相談できる体制）、③チームアプローチ（管理者や看護師、支援員など事業所内の連携において、サビ児管としてどのような工夫やアプローチをしているか）など。
3. 利用者支援にあたって、サビ児管として個人のスキルを高めていくことの他に、**支援を行う環境・仕組みを組織として整えることも必要**なことから、サビ児管と管理者とで課題を共有し、改善に向けて協議することも大切である。

1.報告 3分

事前課題1の**全項目**を使って3分で報告です。一人目のみ1分前にアナウンスします。報告者は工夫して、持ち時間を活用してみてください。報告を聞いているグループメンバーの皆さんは、参考になった!取り入れたいと思うことをメモしてください。

2.質問 2分

2分間でメモを使って取り入れる・持ち帰るための質問をしてください。質問の仕方にコツがあります。つつい質問の理由といった「うちの事業所では…」なども伝えたいくなりますが、ここではできるだけ、コンパクトに端的に聞いてみてください。「チームの風通しが良い」という報告には「風通しがよくなるために何か工夫していますか？」など

3.グループディスカッション 15分

グループメンバーの報告を聴いて良いところを共有し、自事業所に持ち帰り、すすめるためのアイディアなどをグループ間で意見交換する

演習2

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての自己検証

演習2 目的と要点

<目的>

このセッションは、事前課題2を用いて自己のサビ見管業務や支援のあり方を振り返るとともに、グループメンバーの意見やアイデアを参考にして、改善したい課題の整理や、質の向上、スキルアップに向けた今後の取組みを明確にする。

【演習2】 事前課題2を使用した報告と討議

演習2「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての自己検証」について

＜事前課題2＞

1. 個別支援計画の作成について

- (1) 個別支援計画の作成について
- (2) 日常的なアセスメントとモニタリング

2. 会議について

3. 他の従業者に対する技術指導及び助言について

4. 虐待防止について

【演習2】 事前課題2を使用した報告と討議

演習2「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての自己検証」について

＜事前課題2 続き＞

それぞれの質問に対する回答方法

総ての質問項目に「研修後どのように取り組みますか」と言う、まとめの段階で記入する欄もある。

**グループ報告は2項目にし、検討、まとめをおこないます。
検討する2項目は、グループによって異なります**

サビ児管としての自己検証

演習2のポイント

1. 事前課題の内容整理をするにあたっては、批判的なことは避け、良い取り組みと思われた内容について意見交換し、サビ児管として自己の業務を振り返りながら、業務の質の向上に向けて取り組んでみたいことを整理します。

2. 報告時の「良い取り組み」を見る視点として以下を4点確認してください。

● 本人の意思に基づく本人主体の個別支援計画になっているか、そのためのプロセスをどのように管理しているか。

● 目的に沿った会議を効果的に開催できているか。勤務形態が異なる環境において、会議の質を高めるためにどのような工夫がされているか。

また、本人参加のモニタリング会議等おこなっているか

● 人材の多様化に即した育成管理ができているか、組織的な人材育成プログラムはあるか、スーパービジョンを取り入れているか

● 権利擁護。虐待防止に向けた組織的な取り組みがあるか。不適切な支援が確認された場合、サビ児管として確認、修正、介入できる環境と取り組みがあるか。また、良い支援や取り組みに対してどのような評価をしているか

サビ見管としての自己検証

事前課題2を確認しながら、報告者ができていないと感じていることや、演習で学びたいと思っていることについても、報告してください。

グループメンバーは、報告内容のいいね!と感じた部分と、報告者の困っている事や悩んでいる事に、アイデアや助言を伝えるためのメモを取ってください。

演習2の進め方について(1人7分)

1. 報告【5分】

事前課題2の個別支援計画と1項目(グループ別)を5分で報告です。報告者は時間を意識しつつ、伝えるべき内容を明確に報告してください。時間内に解りやすく相手に伝える技術はサビ児管にとって必要なスキルです。

報告を聞いているグループメンバーの皆さんは、参考になった!取り入れたいと思うことと、困っている事へのアドバイスをメモしてください。

2. 質問・回答【2分】

2分間でメモを使って、自身を取り入れる・持ち帰るための質問をしてください。

3. ディスカッション【20分】

報告を聴いて、持ち帰りたいとおもった「いいね」と、報告者が演習で学びたいことに対する「**アドバイス**」や改善点の共有をおこなってください。

演習3

サービス管理責任者・児童発達支援
権利責任者として、関係機関との連
携に関する自己検証

【演習3】 目的と要点

「関係機関との連携」

<目的>

- ①関係機関との連携
- ②相談支援専門員との連携
- ④自立支援協議会への参加について、

事前課題3を用いて自己の業務を振り返り、グループ参加者の意見も参考にしながら改善を図っていく。

演習3 目的と要点

- 1、関係機関との連携（企業・学校・医療機関・他の福祉事業所等）
- 2、相談支援専門員との連携について
- 3、自立支援協議会への参加について

<目的>

このセッションは、事前課題3を用いてサビ児管として、地域資源や関係機関との関り方や連携実績を振り返るとともに、グループメンバーの意見やアイデアを参考にして、改善したい課題の整理や、協働の実現に向けた関係づくりのヒントを得て、地域づくりに向けた今後の取組みを明確にする。

演習3の留意点

1. 「良いと思う取り組み」「アイデア・改善点」「本研修で学びたい事・知りたい事」について、他者の改善に向けた工夫やアドバイス等をメモする。
2. サビ児管として連携を行えていない面もあるかもしれないが、まずは役割業務を理解し、なぜ連携が必要かをグループで検討し、スキルアップしていくことが大事である。
3. 同じグループのメンバーの報告を聞いて、自分及び自事業所に活用できる事柄を見出す。

【演習3】 事前課題3を使用した報告と討議

演習3「関係機関との連携」について

＜事前課題3＞

1. 関係機関（企業・学校・医療機関・他の福祉事業所等）との連携
2. 相談支援専門員との連携
3. 自立支援協議会への参加について

【演習3】 事前課題3を使用した報告と討議

演習3「関係機関との連携」について

<事前課題3 続き>

○報告

事前課題で記入した内容(現状の報告)

学びたいこと・知りたい事の報告

○質問

連携方法や繋がるためのアプローチ方法など

○グループディスカッションを経て、自事業所にもちかえ実践につなげる

演習3の手順

関係機関との連携

①事前課題3の報告

【報告時間4分→質問2分＝6分×6名＝36分】

- ・「良いと思う取組み」をメモする。
- ・報告者の学びたい事・知りたい事について、
改善策やアイデアをメモする

②メモしたものを使いKJ法で整理しまとめ、良いと思う取組、改善策やアイデアを共有する。

【25分】

③全体共有(発表)【3G×3分＝10分】

演習3の留意点

自立支援協議会の報告について

1. 自立支援協議会の報告については、調べてきた内容について報告する。また調べたが不明点など、学びたい事を報告する
2. 聞いているグループメンバーは、報告を聴き、学べたことや知った事、不明点への回答やアドバイスをメモする
3. グループディスカッション
報告を聴き、学べたことや不明点へのアドバイス、自身の今後の取り組み、参画方法などを話し合う

関係機関との連携に関する自己検証

演習3の留意点

1. (自立支援)協議会は、障害者の地域生活を考える場であることから、事業所が協議会に参画する意味として

①利用者は地域の支えもあって生活していることから、事業所も地域の視点をもつこと。

②対応が難しい利用者への支援に行き詰ったり悩んでいるときは、専門機関や地域の理解と協力が得られるよう、日ごろから繋がりをもつこと。

③災害時の地域連携に向けて繋がりをもつこと。

様々な状況と状態をイメージしながらグループで検討します。

2. サビ児管が主体的に相談支援専門員や関係機関と連携する場合、どのような場面でどのようなアプローチがあるのかを、グループで検討します。

演習3の進め方について（1人6分）

1. 報告【4分】

事前課題3の全項目を使って4分で報告です。報告者は、持ち時間工夫して活用してみてください。報告を聞いているグループメンバーの皆さんは、参考になった！取り入れたいと思うことを様式にメモしてください。

2. 質問・回答【2分】

2分間でメモを使って取り入れる・持ち帰るための質問をしてください。

3. ディスカッション【25分】

報告者へフィードバックの時間です。報告を聴いて、持ち帰りたいとおもった「いいね」と、報告者が演習で学びたいことに対する「**アドバイス**」や、それぞれの困りどころを共有し改善点をグループで話し合ってください。

ワークシート1を使って、一日の研修を振り返り、気づきや改善点と改善に向けて、事業所で取り入れたい取り組みを「具体的」に記入する

ワークシート 1

1日目	自己検証による課題抽出 【改善したいと感じたポイント】	課題解決に向けた取り組み 【自事業所で取り入れたいと思った取り組み】
演習1 事業所としての 自己検証		
演習2 サビ児管としての 自己検証		
演習3 関係機関との連携 についての自己検証		

研修のまとめ

○事業所の良いチームと良い組織

他施設のよい取り組み参考して活用しましょう

○本人中心の個別支援計画

ご本人の意思や想いが根拠になる。→意思決定支援の大切さ

日々の小さな変化を見逃さず、共有する

本人を知る事(アセスメント)

○虐待は言葉から

サビ見管として、「支援」と「かわり」を確認していますか？

注意、指導だけでなく、良い支援への評価も忘れずに

○連携の大切さを考える

自分の限界・施設の限界・福祉の限界は、当事者の限界か？